

## 研究倫理チェックリスト

【論題を記入し、次の1～12の各項目について自己点検し該当する項目の右の空欄の「はい/いいえ」のいずれかに”✓”でチェックを入れたうえで、自筆署名し、倫理委員長に提出してください。】

	論題:	はい	いいえ
1	(倫理綱領) 「日本原価計算研究学会倫理綱領」を遵守しています。 (参照: <a href="http://www.jcaa-net.org/shokitei/倫理綱領_2021.pdf">http://www.jcaa-net.org/shokitei/倫理綱領_2021.pdf</a> )		
2	(研究成果内容の確認) ※招待/依頼による論文/報告の場合には、本項目のチェックは不要です。 研究内容および研究成果について十分に検討したうえで、論文投稿または研究報告の申込みをしています。共同研究の場合(著者が連名の場合)は、共同研究者全員からの校閲を受け、承認を得ました。		
3	(個人情報の保護) データ収集や処理など、情報提供者および研究協力者の人格とプライバシーに十分配慮しています。		
4	(インフォームド・コンセント) 研究対象者・研究対象企業等に対して、研究内容および研究成果の公表等について説明し、承諾を得ています。また、研究への参加によって、関係者に不利益や負担が生じないよう配慮しています。		
5	(オーサーシップおよびクレジット) オーサーシップおよびクレジット(著者名の順序を含む)は、研究内容および研究成果に対する貢献度を適切に反映しています。(参照: <a href="https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf">https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf</a> 、63-69頁)		
6	(二重投稿の禁止) 研究成果の一部又は全部の内容は、著者自身によるオリジナルの研究成果であり、他のどこにも投稿又は公開されていません(他機関の学会報告用ペーパーや、ワーキングペーパーは除きます)。 また、論文投稿する場合には、編集プロセスが完了するまで、論文を他のどこにも投稿しません。		
7	(データの適切な保管) 研究活動を通じて得られたデータ・資料・調査分析結果などを、一定期間保存するなど適切に管理しており、必要に応じて開示する準備が整っています。		
8	(データ捏造、改ざん、及び盗用の禁止・1) 研究資料・機器・過程・統計解析の方法を変更する等の不適切な操作は行っていません。 また、データ・資料・研究活動によって得られた結果は、真正なものに間違いありません。		
9	(データ捏造、改ざん、及び盗用の禁止・2) 他者のアイデア、作成したプログラム、データ、研究結果、又は用語を参照する場合、図表や本文の一部又は全部を引用する場合には、知的財産権・著作権に配慮し出典を明示しています。		
10	(自己盗用の禁止) 著者がこれまでに公表した研究成果(図表を含む)を引用・参照する場合には、適切に引用元(出所)を明示しています。		
11	(差別的表現の回避) 人権を尊重し、不適切あるいは差別的な用語や表現は使用していません。		
12	(利益相反への対応・研究助成等の取り扱い) 利益相反が生じる可能性について検討した上で適切に対応しています。また、研究費等の助成を受けている場合には、その旨を謝辞に記載する予定です。(参照: <a href="https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf">https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf</a> 、24-27頁)		

上記項目のすべてを確認しました。

年 月 日 筆頭執筆者/報告者(署名): \_\_\_\_\_